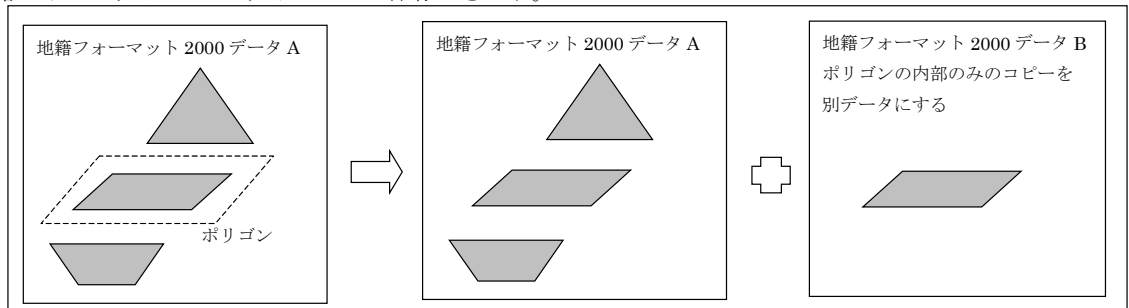


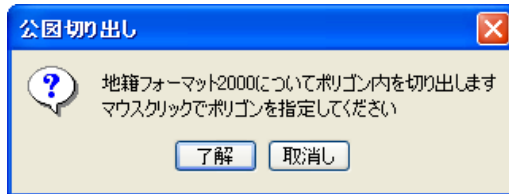
## 1. 公図切り出し

メニュー[ツール]-[公図切り出し]を追加しました。  
 以下、機能説明書からの抜粋です。

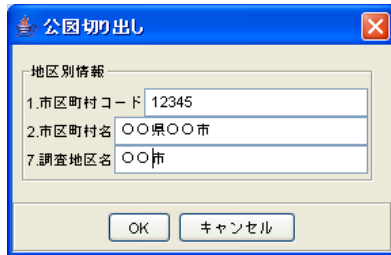
地籍フォーマット 2000 の一部のデータを取り出し、別データを作成します。任意の形のポリゴンを入力し、ポリゴン内部の筆・長狭物図形、筆界点、図根点、仮行政界線とそれに関する他の情報を別データとして作成します。作成したデータは地籍フォーマット 2000 ファイルとして保存できます。



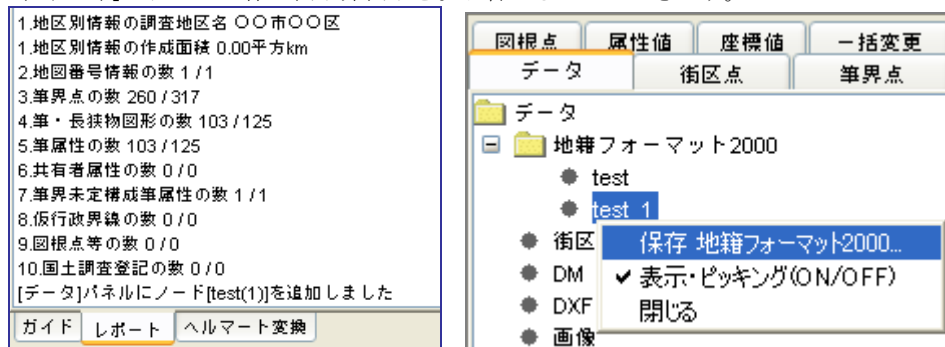
メニュー選択後、マウスボタンクリックでポリゴンを入力します。ダブルクリックで入力終了となり、ポリラインを閉じポリゴンとします。筆・長狭物図形と仮行政界線については、完全にポリゴンの内側に入るもののみをコピーします。



ポリゴン入力後、地区別情報の一部を表示しますので、必要な箇所を変更してください。



コピーしたデータの数をレポートします。すべての筆・長狭物図形の面積を合計した値を地区別情報の作成面積としています。[データ]パネルに作成したデータのノードを追加します。ノード名は元のファイル名に「\_1」「\_2」などを付けています。このノードのポップアップメニューで地籍フォーマット 2000 ファイルが保存できます。また、メニュー[表示・ピッキング (ON/OFF)] でデータ全体の表示非表示を切り替えることができます。



次のような順序で処理しています。ここで「関連する」とは、大字・小字・地番が一致していることを意味します。

- (1) 地区別情報をコピーし、ダイアログの指定で書き換える。
- (2) ポリゴンの内側の筆界点および図根点をコピーする。
- (3) 筆・長狭物図形について、参照する筆界点がすべてポリゴンの内側にある場合、コピーする。従って、一部の点がポリゴンの外側にある場合、コピーしない。
- (4) コピーされた筆・長狭物図形に対応する筆属性をコピーする。筆・長狭物図形に対応していない筆属性はコピーされません。
- (5) コピーされた筆属性が参照している地図番号情報をコピーする。
- (6) 共有者情報について、関連する筆・長狭物図形がコピーされていれば、コピーする。
- (7) 筆界未定構成筆属性について、関連する筆・長狭物図形がコピーされていれば、コピーする。
- (8) 仮行政界線について、参照する筆界点・図根点がすべてポリゴンの内側にあれば、コピーする。
- (9) 国土調査登記情報について、関連する筆・長狭物図形がコピーされていれば、コピーする。
- (10) コピーされた筆・長狭物図形の面積の合計を地区別情報の作成面積にセットする。

## 2. 複数ファイル選択

[ファイル]-[開く 地籍フォーマット 2000]のダイアログで、複数のファイルを選択して同時に開けるようにしました。